

会報 平成おやじの会

No.134

男女バドミントン部と交流

3月12日、男女バドミントン部と交流試合を行いました。



■ 参加者の声

男子バドミントン部部长 佐藤 遼吾さん

先日はお忙しい中、交流試合を開いていただきありがとうございました。普段とは違った雰囲気です。これからは日々バドミントン部は努力し続けていくので、応援よろしくお願いします。本当にありがとうございました。

女子バドミントン部部长 武 奈津美さん

今回、おやじの会でたくさんの交流試合をさせていただき、とても楽しかったです。私たちが部活動出来るのは、たくさんの方の支えがあるからなのだと改めて感じることができました。これからも頑張っていきますので、応援よろしくお願いします。

【戦績】

- ・ 対男子：8勝25敗
- ・ 対女子：21勝13敗
- ・ 全体：29勝38敗

【参加者】

- ・ おやじ&奥様：奥井、宮西、太田、星、十良澤、遠藤、滝、柳本、小野、相沢、山田、田中、熊井、吉田、森田、相神、高木
(計17名)
- ・ 琴中OB&3年生：太田、仲村、栗山、長尾、荒木、相馬、片岡、日沖、神田、志鎌
(計10名)



■ 高木善人さん報告

奥井先生のしなやかな動きと、太田シンさんの声が体育館全体に響き渡る中、声では圧倒しましたが、結果はおやじの惨敗でした。

女子バドミントン部は揃いの素敵なユニフォームを着て、まとまりのあるチームでした。男子バドミントン部は昨年のチームに比べて、試合は積極的、攻撃的でしたが、審判を言わないとやらないところが少し気になりました。伊藤先生と那須先生のチームと、男女バドミントン部のエースチームがそれぞれ対戦し、一番の盛り上がりを見せていました。結果は生徒チームが勝ったようですが、先生と生徒の交流も深めてもらうことができました。

無事、怪我もなく、交流試合を終えることができ、心より感謝しております。

■編集後記：バドミントン部との試合前日の3月11日、東日本は未曾有の大地震に襲われました。試合日には被害の全容が分からず、日が経つにつれ、日本はおろか世界中が悲しみに包まれました。私たち北海道民が被災地に「元気」を送ろうではありませんか。(た)